

株式会社浅井農園

三重県津市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

オランダ式栽培技術の導入により高い生産性を実現し、海外展開に成功

- オランダの栽培システムを導入し、日本の栽培管理技術を統合することで、最適な生産管理方法を創出
- 社長自ら海外の市場調査（香港、シンガポール、マレーシア、ロシア等）を実施。着実な売上げを確保
- 工業・商業のノウハウを取り入れた新たな農業に挑戦。農商工連携の会社を設立し、事業化を図る

企業基本情報

所在地	三重県津市高野尾町 4951 番地
電話/FAX	059-230-1212/059-230-1214
URL	http://www.asainursery.com/
代表者	代表取締役 浅井 雄一郎
設立	1975年
資本金	5,000万円
従業員数	39人



会社概要

同社は、1907年に創業し、百余年にわたり三重県津市において、緑化樹の生産および販売を行ってきたが、第二創業として、2007年より完熟チェリートマトの生産を開始。さらに、2010年より品質改良のための研究に取り組む。現在、国内では、北海道～九州までスーパー、百貨店、生協、外食、ホテルチェーン等との契約栽培による直接取引を行い、顧客との信頼関係を築きながら安定した販路を確保している。



本社研究施設概観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ オランダ式栽培技術の導入により高い生産性を実現

ハウス内の温度、湿度、CO₂濃度等を統合システム管理し、状況に応じて窓の開閉や水分量、水の温度、肥料の量等を調整するとともに、日々の生産プロセスを数値やグラフを用いて可視化し、最終商品の品質に照らして最適な生産管理方法を分析。また、従業員の労務管理を徹底し、作業時間の把握と収穫量から生産性の見える化を実施している。こうした独自の栽培技術により、フルーツのような甘さ、適度な酸味、バランスの良い糖酸比、コクのあるうま味を実現した「完熟チェリートマト」の安定的な生産を実現。



国際競争力ある農業の実践

▶▶▶ 中国やシンガポール等のアジアを中心とした海外展開に注力

社長自ら海外で市場調査を行い、信頼できる現地パートナーとのアライアンス構築に乗り出している。海外戦略においては、綿密に計画を練り、香港、シンガポール、マレーシア、ロシアに輸出トライアルを行い、特に香港へはトライアル後も定期的な出荷と売上実績が上がっている。人材戦略としては、インドネシアやアフリカ等からのインターンシップの受入れや日本で博士号を取得した中国人の採用など、農業分野でグローバルに活躍できるクロスボーダー人材の育成にも注力している。



香港での試食販売会

▶▶▶ 新会社を設立し、工業・商業のノウハウを取り入れた新たな農業に挑戦する

2013年、①辻製油(株)、②(株)浅井農園、③三井物産(株)の三社が共同出資し、うれし野アグリ(株)を設立。国内最大級でオランダ製の最先端の太陽光利用型植物工場を、2013年農業成長産業化実証事業を活用して建設。円滑なコミュニケーションのもと、ハウスの栽培管理(浅井農園)、熱源提供、トマト加工品化、成分分析(辻製油)、油の原料(菜種)の仕入れ(三井物産)など、それぞれの強みを活かした有機的な三者連携による高品質トマトの栽培・販売を行っている。



三者農商工連携の会社